

所 報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第191号 令和7年4月16日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

・令和7年度江別市公立小中学校の教育活動
スタートにあたって

江別市教育委員会教育長 黒 川 淳 司

令和7年度江別市公立小中学校の教育活動スタートにあたって

子どもが主役の学校づくり

江別市教育委員会教育長 黒 川 淳 司

■ 江別市子どもが主役のまち宣言

学校にとって「子どもが主役」を具現化する第一歩は、授業の改革です。全ての学校が努力している「教師による一方的な説明中心の昔ながらの授業から脱却し、児童生徒主体の対話的な学びへの転換」を、チームとして共通理解を深めながら進めていきましょう。

また、「子ども」が大人と同等の権利を持つことを教師が深く理解するだけでなく、具体的な事例を通じて児童生徒に「自分の権利」を体感させる教育活動が求められます。校則の見直しや制服の変更をはじめ、学校行事等の進行方法においても児童生徒が「意見表明権」を持つことを、よりに大切にしていきたいと思います。

■ 子どもに寄り添った指導 「懲戒処分の指針」 他にも一部変更

江別市の学校教育においては、これまでも「子どもに寄り添った指導」をお願いしてきました。中には、長年指導してきた方法を変えたくても変えられない、という悩みを抱えている先生もいらっしゃると思います。

昨年、「懲戒処分の指針」の一部が変更され、「体罰」と並列して「不適切な指導」が位置づけられ、今年もさらなる変更が加えられました。日本の教育の歴史の中でも重大な変更と言えるでしょう。部活動を含む指導において、あくまでも子どもたちに寄り添った指導を行うことが、教職員の仕事であり、責務です。主役は「子ども」を合言葉に、今年も共に頑張りましょう。

■ 小中一貫教育の3年目！

各中学校区で事務局校を決め、「年間スケジュール」を基にしながら、新たな取組を具体化して進めていただいていることに、心から感謝申し上げます。スタート当初は、その意義や効果に疑問の声もありましたが、先生方の意見を反映させつつ、一層の工夫・改善が進み、「やってよかった」との声が多く届くようになってきています。

「15歳の春という目指す姿が共通である以上、校内研究も中学校区で揃えていこう」とか、「地域への説明や活動に対する共感を得るために、コミュニティ・スクールも合同で開催しよう」などの動きが出てきていることを、たいへん嬉しく思っています。

「目指す姿の実現に向け、小・中の先生方が腹を割って話し、力を合わせていく」という江別市の小中一貫教育に対するご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。

■ タブレット端末の更新

児童生徒用のタブレット端末の更新については、令和7年度より3年計画で進められ、初年度となる今年度は大麻地区の小中学校7校が更新されます。教師用タブレットは全学校分を9月中に更新できるように準備を進めています。指紋認証を顔認証による多要素認証に変更したり、性能向上により、長期休業中の在宅勤務での活用もしやすくなりました。また、対話型ツール「sky menu cloud」については、より使いやすいアプリケーションに改良する予定です。転入された先生方は、NAS およびアジュールの活用ルールを早めに理解し、これまでの先生方と共に積極的にチームとして活用をお願いいたします。

■ 江別市働き方改革推進計画第3期

これまでの校内での精力的な工夫改善の取組に感謝申し上げます。学校の取組を支援するため、令和7年度の教育予算は、これまで以上に「人的支援」に力点を置きました。もちろん、まだ「十分」とは言えませんが、特別支援教育に関する支援員や不登校児童生徒への支援、学習サポート教員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーや心の教育相談員、スクールサポートスタッフなど、江別市としての人的支援は、すべての面で増員または時間の拡大を実施する予定です。

先生方におかれましては、引き続き子どもたちのための力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

■ 学校施設の修繕や改築に向けて

古い校舎に様々な問題があることは十分に承知しています。予算要望においても各学校から切実な要望を受けていますが、実現が難しい点も多く、申し訳なく思っています。老朽化した学校施設・設備の改修及び、更新については、計画的に進めるために学校施設管理計画の担当部署を新設しました。単年度で解決できない課題もありますが、今後は学校の適切な環境整備や維持管理を、より一層丁寧に進めてまいります。

令和7年度の江別市の教育をどうぞよろしくお願いいたします。

江別市教育研究所は、教育の理論や実践についての専門的研究を行い、教育の進展と充実を図ることを目的とし、昭和30年に設立され、今日に至っています。

令和7年度も、市内各校の協力を得ながら、「夏期セミナー」などの教職員研修の実施や、児童生徒の意識調査をまとめた「調査研究報告書」の発行、小学校外国語教育の充実に向けた協議会運営に取り組んで参ります。また、教育研究所の活動を「所報」にて随時紹介し、情報提供にも努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。